

四条だより

令和7年12月末号



厳しい夏の暑さの中スタートした2学期も4か月が経ち、冬の寒さが増してきた本日で終業式となりました。2学期は学校祭をはじめ多くの行事を行い、子どもたちも力を合わせてがんばっていました。行事のみならず、学習や部活動でも子どもたちの一生懸命な姿を見ることができ、本当に充実した2学期だったと思います。あと1週間余りで今年も終わりを迎えます。この1年を振り返る中で、何か一つでも成長できたことが見つけられたら素晴らしいと思います。明日から冬休みとなりますが、1年をしっかりと振り返り、新しい年を迎えてください。

1年生 ジョイ JOB LAND

12月11日（木）に、キャリア学習の一環として、ジョイ JOB LANDという体験型学習に取り組みました。生き方探究館では「業務の実務体験」と「就活準備の実践体験」をおこないましたが、業務体験では京都中央信用金庫・PHP研究所の方々のご協力もあり、実際の仕事につながるグループ活動ができました。



特に各班代表による企画書のプレゼンテーションは、緊張しつつも堂々と発表できたのが印象的でした。就活体験では各ブースでの企業研究をもとに、自分と企業とのマッチング分析をおこないました。スタッフの方とたくさん話ができたことを喜んで報告してくれた人もいました。行事を通じてまた一つ成長を感じることができました。この1年生が将来どんな大人になり、どうやって社会に貢献していくのか…楽しみにしています。

12月は人権月間です。人権学習を行いました。

12月の人権月間に全学年で人権学習を行いました。1年生は、一人ひとり違いがあることを理解し、その違いによる差別意識に気づき、お互いの違いを認め合い差別や偏見なく共存していくことを学びました。2年生は、多文化共生社会をテーマに学習しました。在留外国人の歴史や文化を学び、特に韓国・朝鮮の人々に対する偏見や差別を考えることで、多文化の人々との違いを認め、尊重し合うことの大切さ、共に生きる社会を実現することの大切さに気付く人権学習をしました。3年生は、講師の先生をお招きして同和問題についての講演をしていただきました。特に結婚差別についてご自身の体験を話していただき、差別をなくしていくためには自分にはどのような行動ができるのかをそれぞれが考えるきっかけになったと思います。3年生の生徒たちも実際に体験されたお話を聞くことによって、より差別問題を身近に考えることができました。世界では、今なお戦争、紛争が続き、身近な社会では、SNSによる誹謗中傷なども大きな問題となっています。人権学習を通じて「一人ひとりが大切にされる社会」とはどのような社会なのかをしっかりと理解し、自分にできることは何なのかを考え、行動できる社会の担い手となってくれることを期待します。

【学校評価アンケート（後期）ご協力のお願い】

後期の学校評価アンケートを「すぐーる」で配信させていただいております。スクリレのお便りに掲載されておりますURLをクリックしていただき、アンケートにお答えください。回答は1月9日までとさせていただきます。

【児童・生徒の健全育成を願っての標語募集のお願い】

懇談時にプリント配布させていただいた地生連主催の青少年健全育成活動の標語募集について、生徒からだけでなく保護者の方にも応募をお願いしております。配布の用紙にご記入いただきご提出をお願いいたします。